

なお、lockModuleOnMemory()によりロックされた外字データは、文書グループ内で有効であるため、外字データの共有は文書グループ内に限られる。

5.2.3 外字の提示動作

p, a, span, input 要素に適用された font-size 特性と外字の width、height が一致していない場合の動作は受信機依存とする。

5.3 DOM の動作

5.3.1 DOM の使用に関して

DOM の使用にあたっては、あるインタフェース X を利用する場合に、Document クラスの createX()メソッドを使用して Document の構造を作成した後に X インタフェースを使用することが通常である。但し、本仕様案に準拠したコンテンツの記述に際しては、createX()メソッドによる明示的な構造の生成は省略することとする。よって、受信したコンテンツで DOM が使用されていた場合、受信機は DOM を使用する前にメモリ上に DOM ツリーを展開してから使用することが望ましい。

なお、DTD に定義されていないエレメントが入力された場合も内容の分からないエレメントとしてノードを保持するが、属性等は破棄しても良いとする。

また、DOMImplementation インタフェースの hasFeature()メソッドは、feature が"BML"、version が"1.0"のとき true をかえす。ただし、大文字、小文字の区別はしない。

5.3.2 制御符号（空白、改行、タブ）の扱い

BML 文書に制御符号（空白、改行、タブ）が含まれる場合、以下の規則に基づいて、DOM を生成する。

- 制御符号のみの文字列に対してはテキストノードは生成しない。
- p 要素、span 要素、a 要素の子ノードの文字列に制御符号が含まれる場合、表 5-11 の規則を適用する。

表 5-11 要素の子ノードの文字列における制御符号の扱い

制御符号の出現パターン	DOM 生成時の処理	例
開始タグの直後の制御符号の並び	すべて無視する。	<pre><p> abc </p></pre> <p>p 要素の子ノードの文字列データは "abc"となる。</p>
終了タグの直前の制御符号の並び	すべて無視する。	<pre><p>defg </p></pre> <p>p 要素の子ノードの文字列データは "defg"となる。</p>

制御符号の出現パターン	DOM 生成時の処理	例
2 バイト文字と 2 バイト文字との間の制御符号の並び	すべて無視する。	<p><p>日本語 日本語</p></p> <p>p 要素の子ノードの文字列データは "日本語日本語" となる。</p>
2 バイト文字と 1 バイト文字との間の制御符号の並び	1 バイトの空白文字 (0x20) とする。	<p><p>日本語 Japanese </p></p> <p>p 要素の子ノードの文字列データは "日本語 Japanese" となる。</p>
1 バイト文字と 1 バイト文字の間の制御符号の並び	1 バイトの空白文字 (0x20) とする。	<p><p>abc def</p></p> <p>p 要素の子ノードの文字列データは、 "abc def" となる。</p>

- p 要素中に span 要素、a 要素、br 要素が混在する場合には、表 5-12 の規則を適用する。

表 5-12 p 要素内に別の要素が混在する場合の制御符号の扱い

制御符号の出現パターン	DOM 生成時の処理	例
br 要素の終了タグの直後に続く制御符号の並び	すべて無視する。	<p><p> abc
 def </p></p> <p>
から "d" の直前までの空白はすべて削除し、p 要素の最後の子ノードの文字列は "def" となる。</p>
span 要素、a 要素、br 要素の開始タグの直前に続く制御符号の並び	1 バイトの空白文字 (0x20) とする。 (例)	<p><p> abc def </p></p> <p>p 要素の最初の子ノードの文字列は、 "abc" の後に、0x20 を含み、 "abc " となる。</p>
span 要素、a 要素の終了タグの直後に続く制御符号の並び	1 バイトの空白文字 (0x20) とする。	<p><p>abcdef ghi def </p></p> <p>p 要素の最後の子ノードの文字列データは、先頭に 0x20 を含み、 " def" となる。</p>

- CDATA セクションの空白・改行の表示の際に、1 行の文字数がブロックの幅に収まらない場合、ブロックの右端で行を折り返して表示する。
- タブは、空白 1 文字 (1 バイト) として取り扱う。つまり描画幅は、1 バイト文字と同等とする。どう描画されるかは実装依存とする。

5.3.3 DOM インタフェースの構成

運用される DOM インタフェースの継承関係を図 5-9 に示す。図中の楕円形はコア DOM イン